

相談支援専門員のための アセスメント研修

開催日：令和6年9月19日（木）

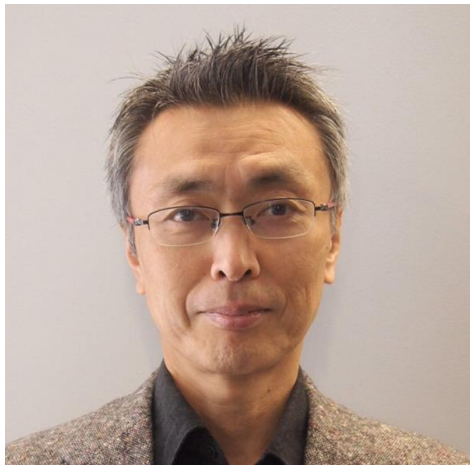
開催時間：13:30～16:30（予定）

開催場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館

対象者：茨城県内で相談支援事業に携わっている相談支援専門員

受講定員：50名

参加費：会員 2,000 円 非会員 4,000 円



こんどう なおじ

近藤 直司先生

（現在の資格・役職）

精神科専門医、大正大学名誉教授

（経歴）

東海大学医学部卒。山梨県立精神保健福祉センター所長、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長、大正大学心理社会学部教授として勤務。

（近著）

「青年のひきこもり・その後」（岩崎学術出版社、2017）、「ひきこもり問題を講義する」（岩崎学術出版社、2019）、「アセスメント技術を高めるハンドブック 第3版」（明石書店、2022）。

相談支援においては、専門職として根拠に基づいた見立てが必要です。その方法の一つとして「生物ー心理ー社会モデル」の考え方があります。これは新しいカリキュラムになった相談支援従事者初任者研修の中にも位置づけられ、茨城県でも令和3年度の研修から取り入れております。「生物ー心理ー社会モデル」を書籍等で提唱され、国の相談支援従事者指導者養成研修等で講師としてご活躍になられている近藤直司先生を当協会主催研修にお招きし、地域の第一線で奮闘されている皆さんと共に、今一度アセスメントの基本に立ち返る機会として、今回の研修を企画しました。